



ぽっちゃり検査技師が聞いてみた!!

今回のインタビューは、消化器内科 科長 松下 功 先生 に伺いました。

このコーナーでは当院に入職した職員を紹介します。

Q1…医師を目指した理由をお聞かせ下さい。

A. 子供の頃、お医者さんが聴診器で胸の音を聞いているのが、とても不思議でした。いったい、何の音を聞いているのかなと。医師になれば、その秘密が判るはずなので。それが原点だった気がします。今も、聴診器は必ず持ち歩いていますが、やっぱり難しいですね。

Q2…なぜ消化器内科を専門としたのですか。

A. お腹が痛い、吐き気がする、食欲が無いといった症状を経験したことが無い人はいないと思います。消化器内科は、それだけ、身近な病気を診ているので、患者さんの数も多く、多くの人の役にたてるかなというのが志望の動機です。実際、なってみると、食道から胃・大腸、肝臓・胆道・膵臓と守備範囲がとても広く、大変だなと思うことも多いですね。

Q3…胃カメラや内視鏡をよく行っていると思います。私は想像するだけで少し震えます…。私のように不安に思っている患者さんにメッセージをお願いします。

A. 私は、胃・大腸カメラの両方とも、検査を受けた経験があります。私の場合、経験のためにも、意識のある状態で受けましたが、理屈が判っていても、最初は怖いんですね。そういう意味では、当院で行っている静脈麻酔下での内視鏡は、眠っている間に検査が終わるので、とても楽ですよ。ただ、大腸カメラの際は、下剤をしっかり飲む必要があります、これは、頑張ってもらいたいですね。

検査が終わり、ポリープを切除してもらえれば、やってよかったという安堵感が得られますので、頑張りましょう！

Q4…食生活の欧米化が問題になっているようで、大腸癌や食道がんが増えているとニュースで言っていました。消化器内科医として日常の食事は和食中心のほうが推奨なのでしょうか。

A. 食道がんは、喫煙・お酒が原因の殆どですので、最低限、喫煙と大酒は控えましょう。胃がんは、ピロリ菌が原因の多くを占めますので、ピロリ菌がいる方は、除菌しましょう。私も除菌しました。大腸がんは、原因がはっきりしていないのですが、疫学的には、牛・豚の加工食品（つまりは、ハンバーガーやホットドッグ）がよくないことが判っています。ジャンクフードを控えるという意味では、和食中心のほうが推奨ですね。

Q5…すきなご飯のおかずはなんですか。理由もお聞かせください。

A. 鳥のから揚げです！ 胆石持ちなので、脂肪分を控えないと思っています。

ありがとうございました。
それではまた次号でお会いしましょう。

お知らせ

令和元年度
練馬光が丘病院区民健康講座

「より安全、より低侵襲な
心臓血管外科手術
への取り組み」



あらかわ まもる
心臓血管外科 荒川 衛

日程：令和2年1月25日(土)
14:00～15:30

場所：練馬光が丘病院 地下大会議室

※事前申込みになります(先着100名)

申込・問合先までご連絡をお願いいたします。
なお満席の時はお断りする場合がございます。

申込・問合先：地域連携相談センター
TEL:03-3979-3611(代) 内線/3156
月曜～金曜 9:00～16:30

令和2年1月～3月 区民健康講座予定表

※各講座は予約制になっております。下記問合わせ先までご連絡ください。(受付先着順)
なお、各講座で定員数が異なりますので、事前お問い合わせください。

月 日	主 催	講演者	テーマ	場 所
令和2年 1月25日(土) 14:00～15:30	練馬光が丘 病院	心臓血管外科 荒川 衛	「より安全、 より低侵襲な 心臓血管 外科手術への 取り組み」	練馬光が丘病院 地下1階大会議室
令和2年 2月22日(土) 14:00～15:30	練馬光が丘 病院	神経内科部長 山田 広樹	「怖い頭痛と 怖くない頭痛」	練馬光が丘病院 地下1階大会議室
令和2年 3月28日(土) 14:00～15:30	練馬光が丘 病院	眼科 伊丹 彩子	「眼科疾患に ついて」	練馬光が丘病院 地下1階大会議室

問合先：地域連携相談センター
月曜～金曜日 / 9:00～16:30
TEL / 03-3979-3611(代) 内線 / 3156

練馬光が丘病院

練馬光が丘病院は「公益社団法人地域医療振興協会」の運営施設です。地域医療振興協会は、地域医療を取り巻くさまざまな問題を解決し、へき地を中心とした地域保健医療の調査研究および地域医学知識の啓発と普及を行うことを目的に1987年5月に設立され、2009年12月1日より公益社団法人として新たにスタートしました。地域医療に対する意欲と実績を持つ医師を中心に、つねに地域保健医療の確保と質の向上など住民福祉の増進を図り、地域間での医療の不均衡の解消、地域の振興を推進しています。

発行元：練馬光が丘病院

〒179-0072 東京都練馬区光が丘2-11-1
TEL:03-3979-3611(代)
http://hikarigaoka.jadecom.or.jp



Kirakira-Letter

令和2年1月

第61号

公益社団法人地域医療振興協会 練馬光が丘病院 広報紙



もくじ

新年のご挨拶 …………… 2、3

お知らせ …………… 4

ぽっちゃり検査技師が聞いてみた …………… 4

令和2年新年ご挨拶

皆様、新年明けましておめでとうございます。

私は平成24年7月から当院に勤務、昨年4月から現職に着任しております。年初にあたりまして、練馬光が丘病院が地域の皆様の医療ニーズにより一層応えられる病院となれるよう、また皆様に受診頂く時をはじめ、常日頃の医療サービスがもっと向上されるよう、最大限の努力を重ねて参る決意でございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

昨年は15号・19号と激甚な台風災害で長期停電となった千葉県をはじめ広域で大きな被害が発生しました。都内でも「想定外」の大雨で多摩川があふれ病院が浸水して診療機能停止、病院避難に至るといった事態も起きました。思い出したのは当院が日大から運営移行して開院する前年、平成23年の夏のことです。私は訪問診療のため練馬区内を自分で運転して走り回っていたのですが、8月某日に記録的なゲリラ豪雨があり区内でもアンダーパスがあっという間に冠水してしまいました。非常に危険を感じながらも何とか通過できましたが、訪問先施設にたどり着くのにさらに大変な苦勞をしたものです。しかし昨年の台風では雨量のわりに区内の浸水被害は比較的少なかったようです。この点について区職の方から地下の「雨水貯留浸透施設」設置など都や区による治水対策が進んだ事が大きいと伺いました。練馬区の震災をはじめとする災害対策は他地域に比較して多くの点で先進的と常日頃から感じており、また「想定外の想定」もなされているものと思います。翻って災害拠点病院である当院の対応能力はどうかという事です。開院時から比較しますと職員数は各職種で年々増加して常勤医師数も昨年度110名を超え、大災害時に重要なマンパワーという点では対応能力が大きく向上していると思います。また開院以来、地域の皆様との顔の見える災害対策の推進を心がけて参りました。ただ大震災時などで一度に多数の傷病者を受け入れる能力（Surge Capacity）はどうかといいますと、施設の狭隘や老朽化などのため、また電力を中心とするインフラが不十分で問題山積みというのが現状です。これらの課題が建設開始予定の新病院においては解決されるよう、また「想定外の想定」もなされ「災害に負けない病院」となるよう計画しております。免震装置は元よりコジェネレーションを含む自家発電能力の向上、そして災害用井戸も確保されます。救急初療エリアの大幅な拡大や中等症の災害時入院用拡張スペース確保に加えて重症者収容ユニットも現在のICU6床からICU14床+HCU（ハイケア）16床と大幅に増えます。医療救護所に隣接することにも大きなメリットがあると考えています。

さて話を日常診療の事に戻します。今年も新病院に向けて診療領域を広げつつ、その質を向上させる為の努力を職員一同で継続致します。昨年から「総合診療と専門診療は当院の診療における両輪」というコンセプトを掲げておりますが、救急・集中治療・総合診療をシームレスに対応する医師チームを増員し強化をはかります。また区内で増加している小児救急や分娩の需要にさらに対応できるように努力いたします。循環器・呼吸器・消化器の各センターをはじめとする各専門診療科領域についても、診療体制のより一層の強化をはかります。すでに大変多くの手術・治療をこなし成績も良好な心臓大血管・循環器領域をはじめ、脳血管内手術、胸腔鏡・腹腔鏡・内視鏡下手術など各科各領域で、できるだけ体に負担がかからない（低侵襲な）治療や検査を、より積極的かつ安全に実施いたします。癌で受診いただくケースも大幅に増加しており、がんセンターの開催や緩和チームの立ち上げも予定しております。

なお喫緊の最重要課題と致しまして、外来受診後の会計・処方箋などの導線や時間を鋭意工夫してなんとか短縮したいと思います。現状皆様に長時間待ちなどで大変なご迷惑をおかけしていますことをこの場をお借りして心よりお詫び申し上げます。



病院長
光定 誠

新年明けましておめでとうございます。
新年を迎え謹んでご挨拶申し上げます。

旧年中に賜りましたご厚情に深く感謝申し上げます。
旧年は台風、豪雨が全国各地を襲いました。被災された方々、復興途中の方々におきましては、心からのお見舞いを申し上げますとともに、一刻も早い回復をお祈り申し上げます。

本年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。練馬のこの地もいっ
にも増して活気が感じられることでしょう。東京オリンピック・パラリンピック
開催中は、当院の医師、看護師もオリンピック会場施設内での医療支援に協力させていただきます。

練馬光が丘病院の看護部は「豊かな感性と思いやりの心で満足して頂ける看護を提供します」を理念としております。看護師一人ひとりが感性を磨き、急性期病院として地域の皆様のニーズに応えられる看護が提供できるよう、より一層職員一同力を合わせてまいります。今後ともさらなるご支援をよろしくお願いいたします。

本年が皆様にとって良いお年となりますよう祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。



看護部長
大城 優子

明けましておめでとうございます。

本年が皆様方にとりまして、健やかで幸多き年でありますよう、
また、更なる飛躍の年となりますよう心から祈念申し上げます。

今年はいよいよ新病院の建設がスタートする予定となっており、新病院に対する現実感が増し、希望と期待が膨らんでまいります。

現病院においては引き続き狭隘で老朽化した施設において創意工夫しながら、新病院に繋がる堅実な運営とサービスの向上ができるよう努め、地域のニーズに応え、皆様とともに地域の発展に貢献していきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

事務部長 大村 重雄